

湊川相野学園 ニュース

発行:2018年12月
湊川相野学園理事長室会

No.49

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学「第5回 みなとっち保育まるとフェスタ」



今年で5回を迎える「みなとっち保育まるとフェスタ」を11月24日(土)に開催しました。開催当日は天候にも恵まれ、対象となる未就学の子どもとその保護者を中心として約340名の親子で賑わいました。保育まるとと題しているように、おもちゃのプログラミングや、屋外でのしっぽとりゲームといった遊びや、カレー、から揚げ、ポップコーン、お抹茶など親子で楽しめる食べ物、人形劇、ミュージカルといった子どもを対象にした劇に加え、ママのあったらいいな、を形にしたフリーマーケットや赤ちゃん講座など、保育という視点から、保育を

まると楽しんでもらえる企画を多数用意しました。

当初は、「三田市地域子育て支援センター」と「湊川短期大学 幼児教育保育学科」で開催していたフェスタですが、昨年度からママサークル「ミラクルウィッシュ」と「人形劇フェスタ三田」が加わり、今年度は各団体の代表者で構成する「みなとっち保育まるとフェスタ実行委員会」にて企画、運営を行いました。

昨年度から来場者も増え、たくさんの親子の笑顔が見られるフェスタとなりました。



三田松聖高等学校「RAMS 第5回 3×3 U18日本選手権大会」



女子バスケットボール部の2年生4名(黒川莉那さん、岡崎萌さん、福田光穂さん、岸本明香里さん)で出場したRAMSは、11月の兵庫県予選を勝ち抜き、12月7日からの3日間、群馬県高崎アリーナで行われた3人制バスケットボールの18歳以下の全国大会において、みごと初出場初優勝を成し遂げました。

32チーム出場の女子は8プールに分かれて予選ラウンドが行われ、RAMSはAプール2位で決勝トーナメントに進出しました。

決勝トーナメント1回戦(対地元群馬県代表)は、序盤はリードされたものの中盤に追いつき最後は3点差の勝利、続く2回戦(対大阪府代表)も3点差、準決勝(対青森県代表)は1点差と僅差で制しました。決勝戦(対宮崎県代表)も息詰まるゲーム展開でしたが、RAMSは2点差で勝ちきる勝負強さを発揮して初優勝しました。なお、MVPに岸本明香里さんが選ばれました。

キャプテン黒川さんのコメントです。「今回の全国優勝は、私たちにとって本当に良い経験になりました。このことに満足せず、来年は絶対に三冠王を狙います。兵庫県だけでなく、全国の舞台で松聖、RAMSの花を咲かせていきます。ここからが勝負と思っているので、この貴重な経験を日々の練習につなげていきます。応援、ありがとうございました。」

なお「3×3」は、国際バスケットボール連盟(FIBA)が2007年にルールを設けて世界に拡大し、2020年東京オリンピックの正式種目として決定しています。アメリカ発祥のストリートスポーツで「3on3」と呼ばれていましたが、FIBAが国際ルールを設けてから「3×3」が正式名称となりました。



附属ぼるとこども園「ぼるとのみんなであきまつりを開催」



11月10日、園内と、えるむプラザ2階の広場で「ぼるとのみんなであきまつり」を開催し、当日は園児21名とご家族、約80名と職員(12名)が集まりました。広場では子どもたちが「南の島」で、バナナさんに出会って一緒にダンスを楽しんだり、洞窟に入ったり坂すべりをしたりして大冒険をしました。また他にも、キネティックサンド(室内砂場)のコーナーや、お話の時間やティータイムもあり、時間を忘れて親子も職員も和やかなひとときを過ごしました。この機会をとおして、子どもたちの園生活がますます豊かになっていくことを願い、職員一同これからも保育に励んでまいります。

